

# 音楽を読み解く ～作品解釈の過去と現在

オペラ研究所  
連続講座

3

講師

指揮者／音楽学者／鍵盤楽器奏者

クリストファー・ホグウッド

Conductor / Musicologist / Keyboard player

*Christopher Hogwood*

[モデレーター] 三澤 寿喜 (北海道教育大学教授、本プロジェクト研究員)

[逐次通訳] 井上 裕佳子

1941年イギリス生まれ。ハーブシコードをグスタフ・レオンハルトらに師事。1973年、自らエンシェント室内管弦楽団を結成。バロックや古典派作品の当時の様式による演奏が高い評価を受け(ヘンデルのオペラやオラトリオの世界初録音、《メサイア》の古楽録音など)、今日の古楽ブームの火付け役となった。近年は19～20世紀の作品演奏・録音にも力を注いでいる。演奏・録音活動の傍ら、研究者として数多くの著書・論文を執筆しており(『ヘンデル』三澤寿喜訳)、校訂者としてハレ・ヘンデル新全集、メンデルスゾーン作品のペーレンライター原典版(2009年9月にNHK交響楽団と共演)の刊行などに携わっている。今回は本講座前日のヘンデル・フェスティバル・ジャパン公演の指揮のため来日。

2010年2月14日(日)  
13:00～15:00(開場12:30)

昭和音楽大学南校舎5F  
C511教室

(小田急線・新百合ヶ丘駅/南口徒歩4分)

[参加費無料] 定員200名

[申込方法]

裏面に必要事項をご記入の上、  
FAXでお申し込みください。

\* FAXをご利用にならない場合は、はがき、E-mailでも結構です。

\* 入場整理券は2月5日(金)以降にお送りいたします。

\* 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

作曲家によって創造された音楽作品は、  
楽譜の編集者による校訂と、  
演奏家による解釈を経て演奏されます。  
今回は、指揮者・演奏家としてのみならず、  
楽譜校閲者としても高名なホグウッド氏に、  
17～20世紀の楽譜校訂のありようと、  
現代の楽譜校訂・解釈とその人材の育成の  
課題についてお話しいたします。

Photo : Marco Borggreve

[主催・お問合せ] 昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所 Tel 044-953-9858

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 Fax 044-953-6652 E-mail opera@tosei-showa-music.ac.jp URL <http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/>  
Contact: Opera Research Center, Showa University of Music 1-16-6 Manpukuji, Asao, Kawasaki, Kanagawa 215-0004 Japan Tel +81-44-953-9858 Fax+81-44-953-6652

[協力] ヘンデル・フェスティバル・ジャパン